

次期『鳥取県の「教育に関する大綱」』の方向性について（案）

平成30年9月10日
とっとり元気戦略課

＜教育大綱の方向性＞

○PDCA サイクルを毎年回す現在の構成（第一編、第二編（毎年改訂））を継承

第一編「中期的な取組方針」、第二編「重点取組施策、数値目標」といった二部構成とし、第二編は毎年改訂することでPDCA サイクルを回す現在の枠組みを継承。

○県教育委員会が策定する「鳥取県教育振興基本計画」の内容を網羅

県教育委員会が改訂作業を進めている次期「鳥取県教育振興基本計画(H31～H35)」(H31.3月策定予定)の取組の方向性などについて、基本的に、すべて教育大綱に反映。

○社会状況の変化や本県教育の現状、課題等を踏まえて取組方針を設定

若者の県外流出など社会状況の変化をはじめ、学力の伸び悩みや学習指導要領の改訂、高大接続改革など本県教育の現状、課題等を踏まえて中期的な取組方針を設定。

社会状況の変化

○少子高齢化の進展と若者の県外流出など本県における人口減少

- ・2040年県推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)
472,159人(2017年比較:▲93,074人)
- ・本県における10代・20代の転出超過数の増加
H28:▲1,298人 → H29:▲1,315人

○AI や IOT 等の技術革新による高度情報化の進展

- ・今後10～20年後、現在の職業の約半分がロボット等により代替可能との予測(2013年オックスフォード大学)

○外国人観光客の増加、県内企業による海外展開など本県経済のグローバル化

H29 外国人観光客数 140,530人(過去最多)

本県教育の現状・課題等

○全国学力・学習状況調査の結果、各教科の平均正答率が全国平均を下回ってきている。

○子どもたちの地域に対する関心が全国平均を下回っている。

- ・地域や社会の問題・出来事に関心がある。
本県:62.1%(H29) 全国平均63.8%(H29)

○不登校の増加

- ・H29 不登校出現率:小学校で7年連続上昇(H29:0.56%)、中学校で4年連続上昇(H29:3.13%)

○学習指導要領の改訂や小学校の英語教科化(H32)、高大接続改革(H32)など国の教育改革

次期教育大綱の概要（案）

○対象期間：平成31年度（2019年度）から4年間

○構成：第一編（中長期的な取組方針）、第二編（重点取組施策、数値目標）

※第二編の数値目標は、今後策定される鳥取県教育振興基本計画との整合性を図る。

○第一編（中長期的な取組方針）

若者の県内定着・Uターン対策、少子化に伴う生徒減少、時代の変化に対応できる教育環境整備の必要性などの観点から、『「ふるさと鳥取」を支える人材の育成』、『時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実』を新たに柱建てし、取組の充実・強化を図る。

(1) 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

【新】(2) 「ふるさと鳥取」を支える人材の育成

～郷土への愛着と誇りを醸成するふるさと教育の推進～

【新】(3) 時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実

～時代の変化に対応し、安全・安心に学べる教育環境づくり～

(4) 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実

～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

(5) スポーツ・文化の振興

～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

○第二編（重点取組施策、数値目標）

平成31年度当初予算の状況を踏まえて検討・設定する。

教育大綱の改訂に向けたスケジュール（案）

H30.9月 総合教育会議における次期大綱の方向性(案)の提示

H31.1月 総合教育会議における次期大綱(素案)の提示

H31.6月 総合教育会議における次期大綱(最終案)の提示

H31.7月 次期「鳥取県の『教育に関する大綱』(H31から4年間)」の策定

次期教育大綱の中長期的な取組方針(案)と主な取組例

① 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

[拡]学力向上対策(学力向上推進PTの検討結果を踏まえた取組)、小中一貫教育・幼保小連携の推進、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進、教員の指導力の向上、[拡]グローバル化に対応した英語教育の推進(2020年度からの小学校での英語必修化への対応)、高大接続改革への対応、[新]プログラミング教育の推進など

② 【新】「ふるさと鳥取」を支える人材の育成 ～郷土への愛着と誇りを醸成するふるさと教育の推進～

[拡]ふるさと教育の推進(校種ごとの目標設定による小中高で一貫した体系の整備)、コミュニティ・スクールの導入促進、家庭教育の充実、自然体験活動等の推進、[拡]キャリア教育の推進(ICT人材の育成)、県内企業情報の確実な提供など

③ 時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実 ～時代の変化に対応し、安全・安心に学べる教育環境づくり～

[新]少子化や時代の変化を踏まえた今後の県立高校の在り方の検討、[拡]いじめ、不登校防止対策(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの体制強化)、[新]学び直しの際の拡充、貧困の連鎖を断ち切る教育支援の充実、学校における働き方改革、学校施設の質的向上、学校の防災力強化、[新]消費者教育の推進など

④ 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実

～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

障がい児への支援体制の充実、手話教育の推進、[新]職場実習など職業教育の充実、特別支援学校生徒の職場定着の推進など

⑤ スポーツ・文化の振興 ～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

[拡]体力・運動能力の向上策(地域人材の活用促進)、2020年オリンピック・パラリンピックに向けたトップアスリートの育成、文化芸術に親しむ環境づくり、県立美術館の整備推進など